

## 三木特産工業技術研究会 平成16年度3月例会レポート

開催日：平成17年3月2日（水）

見学先：神鋼神戸発電所および灘浜サイエンススクエア（神戸市）



はじめに、施設副館長の伊藤様から神鋼神戸発電所の概要説明を受けました。40年余り、製鉄所が培ってきた自家発電技術のノウハウ、環境技術、石炭のハンドリング技術などがこの神戸発電所に集約されているとお聞きしました。現在、70万KWの発電設備2基をもち、フル稼働で140万KWの発電ができます。これは神戸の街のほとんどをカバーできるとのことでした。そして、高効率で収益を生み出しているとのことでした。

施設を案内していただき、随所に細心の配慮がなされていることを実感いたしました。まず、大気や水といった環境対策はいうまでもなく、大きな発電所施設が地域の景観に違和感を与えないように外壁は落ち着いたグレーを基調とした色で統一されていました。副産物である熱は温水施設として市民に解放され、また蒸気は、近くの酒造工場にパイプラインで送られ、有効利用されていることも知りました。

大地震を体験した神戸だからこそ、神鋼神戸発電所は「都市型発電所」、「エネルギー有効利用」「地域との共生」をめざして、その役割を果たすよう日々努力されている様子がうかがえました。

